

# 松本侑子

出典: フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』

**松本 侑子**（まつもと ゆうこ、1963年6月17日 -）は、日本の小説家・エッセイスト・翻訳家。

## 来歴・人物

島根県出雲市出身<sup>[1][2]</sup>。島根県立出雲高等学校、筑波大学第一学群社会学類政治学専攻卒業。

1985年、テレビ朝日報道制作部に勤め、『ニュースステーション』の初代天気予報担当キャスター、リポーターとして活動。1987年「巨食症の明けない夜明け」ですばる文学賞を受賞し<sup>[2]</sup>、ベストセラーとなる。1988年テレビ朝日を退社、作家活動に専念する。2010年『恋の蜚山崎富栄と太宰治』で新田次郎文学賞受賞<sup>[2]</sup>。

小説、エッセイの執筆の他、シェイクスピア劇や英詩などの英米文学と聖書からの引用を多数解明した日本初の全文訳・訳註付『赤毛のアン』シリーズ<sup>[2]</sup>など、海外小説の翻訳を手がけている。

また日本ペンクラブでは理事を1999年度～2020年度、常務理事を2007年度～2018年度に務めている。

## エピソード

- 1991年、湾岸戦争への自衛隊派遣に抗議し、柄谷行人、中上健次、津島佑子、田中康夫らとともに『湾岸戦争に反対する文学者声明』を発表した。

## 著書

### 単著

- 『巨食症の明けない夜明け』集英社、1988年、小説のち文庫
- 『植物性恋愛』集英社、1988年 小説のち文庫
- 『偽りのマリリン・モンロー』集英社、1990年、小説のち文庫
- 『別れの美学』角川書店、1991年、失恋論エッセイ集のち文庫、幻冬舎文庫
- 『作家以前』集英社、1991年 エッセイ集のち文庫
- 『読書の時間』講談社、1991年 読書エッセイ集のち文庫
- 『ブドウ酒とバラの日々』角川書店、1993年 エッセイ集「私が好き」と改題、文庫
- 『私の本棚』講談社、1993年 読書エッセイ集

- 『美しい雲の国』 小学館、1993年 小説 のち集英社文庫
- 『ヴァニラの記憶』 白泉社、1994年 詩集
- 『性の美学』 角川書店、1995年 性愛論エッセイ集 「愛と性の美学」と改題、文庫、幻冬舎文庫
- 『花の寢床』 集英社、1996年 短編小説集 のち文庫
- 『罪深い姫のおとぎ話』 角川書店、1996年 短編小説集 「グリム、アンデルセンの罪深い姫の物語」と改題、文庫
- 『ロマンティックな旅へ・イギリス編』 幻冬舎、1997年 英文学紀行（文庫改題『イギリス物語紀行』）
- 『ヴァカンスの季節』 新潮社、1997年 旅のエッセイ集（双葉文庫改題『やっぱり、旅は楽しい』）
- 『ロマンティックな旅へ・アメリカ編』 幻冬舎、1997年 米文学紀行 「アメリカ・カナダ物語紀行」文庫
- 『作家になるパソコン術』 筑摩書房、1998年 パソコンエッセイ集
- 『光と祈りのメビウス』 筑摩書房、1999年 長編小説 のち文庫
- 『誰も知らない赤毛のアン～背景を探る』 集英社、2000年,エッセイ集
- 『赤毛のアンに隠されたシェイクスピア』 集英社、2001年,文学評論
- 『性遍歴』 幻冬舎、2001年,小説集 のち文庫
- 『赤毛のアンのが今日が幸せになる言葉 Anne makes you happy』 ディスカヴァー・トゥエンティワン 2001年,エッセイ集
  - 『赤毛のアンのが幸せになる言葉 人生が輝く生き方』 主婦と生活社 2014 (再編集)
- 『アンのが青春の明日が輝く言葉 Anne makes you happy』 ディスカヴァー・トゥエンティワン 2002年,エッセイ集
- 『物語のおやつ』 WAVE出版 2003年,児童文学に出るおやつのエッセイ集
- 『引き潮』 幻冬舎、2004年,小説集
- 『ヨーロッパ物語紀行』 幻冬舎、2005年,文学紀行エッセイ
- 『海と川の恋文』 角川書店、2005年,長編小説 のち角川文庫
- 『赤毛のアンへの旅 秘められた愛と謎』 日本放送出版協会、2008年
- 『私の青春文学紀行』 新潮社(とんぼの本)2008
- 『恋の蛍 山崎富栄と太宰治』 光文社 2009 のち光文社文庫
- 『春の小夜』 角川書店(角川グループパブリッシング) (2010/3/25)
- 『太宰治の愛と文学をたずねて』 潮出版社、2011年
- 『赤毛のアンのがプリンス・エドワード島紀行』 JTBパブリッシング 楽学ブックス 2013
- 『神と語って夢ならず』 光文社 2013 「島燃ゆ 隠岐騒動』 光文社文庫 (隠岐騒動)
- 『みすゞと雅輔』 新潮社、2017年 のち新潮文庫
- 「100分de名著」番組テキスト2022年1月号「金子みすゞ詩集」NHK出版 2021年12月

## 共著

- 『インターネット発見伝』 鈴木康之、ジャストシステム、1996年、パソコンエッセイ集
- 『赤毛のアン』の翻訳物語』 鈴木康之、集英社、1998年、翻訳エッセイ
- 『モンゴメリ「赤毛のアン」を書いた女性作家』 小学館 学習漫画 世界の伝記 1995年、監修。高瀬直子漫画
- 『テーマで読み解く日本の文学 現代女性作家の試み』 小学館 2004年

## 翻訳

- L・M・モンゴメリ 『赤毛のアン』 集英社、1993年、訳注つき新完訳 のち文春文庫 2019年
- マリリン・レイノルズ 『ふぶきの道-カナダ』、河出書房新社、1994年、絵本翻訳
- L・M・モンゴメリ 『アン』の青春』 集英社、2001年、訳注つき新完訳 のち文春文庫 2019年
- キム・レヴィン 『どうして猫が好きかっていうとね』 竹書房 2002年、フォトエッセイの翻訳
- L・M・モンゴメリ 『アン』の愛情』 集英社文庫 2008.10、のち文春文庫 2019年
- 『英語で楽しむ赤毛のアン』 対訳・解説・写真 ジャパンタイムズ 2014年
- L・M・モンゴメリ <sup>ウィンディ・ウィローズ</sup> 『風 柳 荘のアン』 文春文庫 2020年
- L・M・モンゴメリ 『アン』の夢の家』 文春文庫 2020年
- L・M・モンゴメリ 『炉辺荘のアン』 文春文庫 2021年
- L・M・モンゴメリ 『虹の谷のアン』 文春文庫 2022年

## テレビ出演

---

- NHK週刊BSブックレビュー、司会（1993年4月-1995年3月）
- NHK教育テレビ 3か月トピック英会話 『赤毛のアン』 への旅～原書で親しむAnneの世界、講師（2008年4月-6月）
- NHKBS アナザー・ストーリー「太宰治」（2020年3月）
- NHK Eテレ 100分de名著「金子みすゞ詩集」、講師（2022年1月）

## 脚注

---

1. <sup>^</sup> プロフィール (<http://office-matsumoto.world.coocan.jp/profile.htm>)
2. <sup>^</sup> abcd “松本侑子 | 著者プロフィール (<https://www.shinchosha.co.jp/writer/3719/>)”. [www.shinchosha.co.jp](http://www.shinchosha.co.jp). 新潮社. 2022年4月30日閲覧。

## 外部リンク

---

- 公式ウェブサイト (<http://office-matsumoto.world.coocan.jp/index.htm>)[1] (<https://web.archive.org/web/20000823035527/http://member.nifty.ne.jp/office-matsumoto/>)[2] (<https://web.archive.org/web/20000823035527/http://member.nifty.ne.jp/office-matsumoto/>)

[e.org/web/19981206152221/http://www.asahi-net.or.jp/~hh5y-szk/yuko/yuko.htm](http://www.asahi-net.or.jp/~hh5y-szk/yuko/yuko.htm))

- [松本侑子 \(https://twitter.com/officeyuko\)](https://twitter.com/officeyuko) (@officeyuko) - [Twitter](#)
- 

「<https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=松本侑子&oldid=94119161>」から取得

